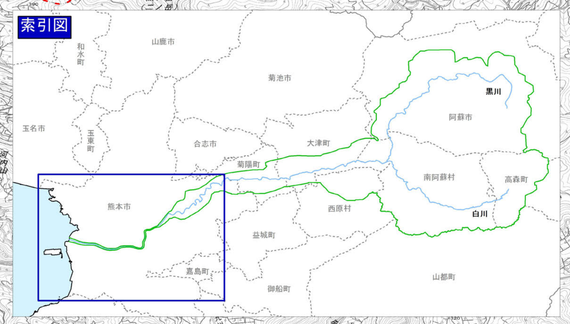
白川水系白川洪水浸水想定区域図（計画規模）



凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.3m未満の区域
- 0.3m～0.5m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 1.0m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m以上の区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

1:30,000（A1）

1　説明文

（1）この図は、白川水系白川の洪水予報区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）この洪水浸水想定区域図は、公表時点の白川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率１／１５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１５０（０．７％））の降雨に伴う洪水により白川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

※注）国管理区間以外については、溢水・越水のみを考慮しており、別途県より決壊による浸水想定区域が公表されます。

2　基本事項等

（1）作成主体　国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所
（2）公表年月日　令和６年１２月２４日
（3）告示番号　国土交通省九州地方整備局告示第１２９号
（4）根拠法令　水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
（5）対象となる洪水予報河川
・白川（実施区間）
左岸：熊本県熊本市東区渡鹿八丁目五百四十番の四地先の小磧橋下流端から海まで
右岸：熊本県熊本市東区渡鹿八丁目五百四十番の四地先の小磧橋下流端から海まで
（6）算出の前提となる降雨　白川流域の２日総雨量５５３mm
（7）関係市町村　熊本市

「国土地理院の電子地形図25000『網津』『宇土』『御船』『肥後船津』『熊本』『健軍』『伊倉』『植木』『肥後大津』を掲載
（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 6JHs 234）」